

認定調査票（O C R票）記載の手引き

参考資料 2

令和3年4月1日
仙台市介護保険課

○ 認定調査票様式は下記の5枚で一式です。

- 概況調査
- 基本調査
- 特記事項（1枚目）
- 特記事項（2枚目以降）

○ 記入上の注意点

用紙について・・・認定調査票用紙はO C R票となっておりますので、折り曲げ厳禁です。

また、機械で読み込みを行いますので、原本を使用してください。

筆記具・・・・・・使用する筆記具は、ボールペン等の消えない筆記具を使用してください。

鉛筆やこすると消えるペンなど、消すことができる筆記具は不可です。

色は黒でお願いします。

数字記入欄・・・文字と枠が接すると読み込みできません。

読み取りやすい文字を記入してください。他の数字と間違えるような書き方はしないように注意してください。

チェック欄・・・原則レ点を記入してください。レ点は枠と接してもかまいません。

文字記入欄（特記事項等の四角い枠で囲まれているもの）

・・・記入欄内をイメージとして読み込みます。（記入欄内に記入した文字をそのまま画像として読み込みます。）

必ず文字を記入欄の枠内に収めるようにしてください。

○ 記入誤りの修正

修正液・修正テープでの修正は不可です。

数字は一度記入したものを×で消して書き直すことや二重線訂正は不可です（特記事項の項目番号は二重線訂正可）。チェック欄や文字記入欄は二重線訂正でかまいません。

※ 規定の用紙に特記事項の記述部分のみ印字する、特記事項入力用エクセルシートをご用意しております。ご希望される場合はEメールにてお送りいたしますので、介護保険課アドレス（fuk005170@city.sendai.jp）あてにご連絡ください。

なお、印字ずれなどにより読み取りができない場合には、再度作成していただく場合もありますのでご了承ください。

詳しい記載方法については、2枚目以降をご覧ください。

また、認定調査票記入の基本的な留意事項等は、「認定調査員テキスト2009改訂版」を参考にしてください。

1. 概況調査

市町村コード：保険者番号を記入します。		実施日時：調査実施日を記入します。 西暦・月・日を記入してください。 時間は00～24までの数字。9時30分開始の場合、「09」と記入します。	
仙台市青葉区：04101 仙台市宮城野区：04102 仙台市若林区：04103 仙台市太白区：04104 仙台市泉区：04105			
認定調査票（概況調査） 0431			
実施場所の区分： グループホーム・ケアハウスの調査の場合は原則「自宅外」にチェックします。但し、住所を施設においている場合は「自宅内」にチェックします。		実施日時 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 調査者番号 <input type="text"/> 生年月日： 元号と年月日を記入してください。	
対象者氏名 右づめで記入します。 頭の「0」は省略不可です。		「自宅外」の場合に記入 初回・2回目以降（前回認定 年 月 日） 前回認定結果（ ）	
電話番号：記入不要です。 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		現住所 調査回目： 「01」と記入してください。 再調査の場合のみ「02」～の数字を記入します。	
申請日： 依頼書に記載されている要介護認定申請日を記入してください。 年は西暦で記入します。		対象 現在受けているサービスの状況： 介護度に応じて予防給付・総合事業・介護給付のいずれかにチェックします。	
申請日： 依頼書に記載されている要介護認定申請日を記入してください。 年は西暦で記入します。		の状況 なし <input type="checkbox"/> 予防給付サービス・総合事業 <input type="checkbox"/> 介護給付サービス <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護（ホームヘルプ）・訪問型サービス ・（介護予防）訪問入浴介護 ・（介護予防）訪問看護 <p>サービスの利用回数は一桁から三桁の数字を右づめで記入します。一桁または二桁の場合には、頭に0を入れて「001」「010」等と記入します。</p>	
利用		<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護（デイサービス）・通所型サービス ・（介護予防）通所リハビリテーション（デイケア） ・（介護予防）短期入所生活介護（ショートステイ） ・（介護予防）短期入所療養介護（療養ショート） ・（介護予防）特定施設入居者生活介護 ・看護小規模多機能型居宅介護 	
特記すべき事項： 認定調査票特記事項（1枚目）の【概況調査】に記入し、この欄には記入しないでください。		施設等利用： 施設等の利用がある場合は※1及び※2を確認の上、該当項目にチェックし、施設等連絡先の欄を記入します。	
施設等利用		介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設 <input type="checkbox"/> 介護医療院 <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護適用施設 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護適用施設（グループホーム） <input type="checkbox"/> 医療機関（医療保険適用療養病床） <input type="checkbox"/> 医療機関（療養病床以外） <input type="checkbox"/> 養護老人ホーム※1 <input type="checkbox"/> 軽費老人ホーム※1 <input type="checkbox"/> 有料老人ホーム※1, 2 <input type="checkbox"/> サービス付き高齢者向け住宅※1 <input type="checkbox"/> その他の施設等 <input type="checkbox"/>	
IV. 調査対象者の家族状況、調査対象者の居住環境（外出が困難になるなど日常生活に支障となる状況、日常的に使用する機器・器械の有無等について特記すべき事項を記入してください。※家族状況 <input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 同居（夫婦のみ） <input type="checkbox"/> 同居（その他） 家族状況について、左のいずれかに記入してください。		家族状況： 該当する項目にチェックを入れるとともに、詳細を認定調査票特記事項（1枚目）の【概況調査】に記入してください。	
当欄の特記すべき事項は、認定調査票（特記事項）の【概況		調査実施者 記入者氏名：調査を行った調査員の氏名とふりがなを記入してください。 事業者名：事業者名を記入してください。	
調査実施者（記入者） <input type="text"/> ふりがな <input type="text"/> 記入者氏名 <input type="text"/>		事業者名 <input type="text"/>	

2. 基本調査

市町村コード：保険者番号を記入します。		対象者番号： 被保険者番号を右づめで記入します。 頭の「0」は省略不可です。	調査日： 調査実施日の西暦・月・日を記入してください。
仙台市青葉区 : 04101 仙台市宮城野区 : 04102 仙台市若林区 : 04103 仙台市太白区 : 04104 仙台市泉区 : 04105			
認定調査票(基本調査) 0412			
市区町村コード		対象者番号	調査日
1-1 麻痺 (複数回答可) 1) ない 2) 左上肢 3) 右上肢 4) 左下肢 5) 右下肢 6) その他（四肢の欠損）		3-1 意思の伝達 1) できる 2) ときどきできる 3) ほとんど不可 4) できない	
1-2 拘縮 (複数回答可) 1) ない 2) 肩関節 3) 腰関節 4) 両関節 5) その他（四肢の拘縮）		3-2 毎日の日課を理解 1) できる 2) できない	
		3-3 生年月日をいう 1) できる 2) できない	
		3-4 短期記憶 1) できる 2) できない	
		3-5 自分の名前をいう 1) できる 2) できない	
		3-6 今季の季節を理解 1) できる 2) できない	
調査項目のチェック欄： チェックボックス（□）にレ点を記入します。 間違った場合には、二重線訂正してください。			
1-5 座位保持 1) できる 2) 自分で支えれば可 3) 支えが必要 4) できない		3-7 場所の理解 1) できる 2) できない	
1-6 両足での立位 1) できる 2) 支えが必要 3) できない		3-8 徒歩 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-7 歩行 1) できる 2) つかまれば可 3) できない		3-9 外出して戻れない 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-8 立ち上がり 1) できる 2) つかまれば可 3) できない		4-1 被害的 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-9 片足での立位 1) できる 2) 支えが必要 3) できない		4-2 作話 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-10 洗身 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助 4) 行ってられない		4-3 感情が不安定 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-11 つめ切り 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助		4-4 昼夜逆転 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-12 横力 1) 普通 2) 1m先が見える 3) 目の前が見える 4) ほとんど見えず 5) 判断不能		4-5 同じ話をする 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
1-13 聴力 1) 普通 2) やっと聞こえる 3) 大声が聞こえる 4) ほとんど聞こえず 5) 判断不能		4-6 大声を出す 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-1 移乗 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		4-7 介護に抵抗 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-2 移動 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		4-8 落ち着きなし 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-3 えん下 1) できる 2) 見守り等 3) できない		4-9 一人で出たがる 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-4 食事摂取 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		4-10 収集癖 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-5 排尿 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		4-11 物や衣類を壊す 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-6 排便 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		4-12 ひどい物忘れ 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-7 口腔清潔 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助		4-13 独り言・独り笑い 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-8 洗顔 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助		4-14 自分勝手に行動する 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-9 整髪 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助		4-15 話がまとまらない 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
2-10 上衣の着脱 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		5-1 薬の内服 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助	
2-11 ズボン等の着脱 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助		5-2 金銭の管理 1) 介助されていない 2) 一部介助 3) 全介助	
2-12 外出頻度 1) 週1回以上 2) 月1回以上 3) 月1回未満		5-3 日常の意思決定 1) できる 2) 特別な場合以外可 3) 日常的に困難 4) できない	
		5-4 集団への不適応 1) ない 2) ときどきある 3) ある	
		5-5 買い物 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助	
		5-6 簡単な調理 1) 介助されていない 2) 見守り等 3) 一部介助 4) 全介助	
6 特別な医療 (複数回答可)		処置内容	
		1) 点滴の管理 2) 中心静脈栄養 3) 透析 4) ストーマの処置 5) 酸素療法 6) レスピレーター 7) 気管切開の処置 8) 疼痛の看護 9) 経管栄養	
特別な対応		10) モニター測定 11) ジョーカーの処置 12) カテーテル	
		7 日常生活自立度	
障害高齢者自立度		1) 自立 2) J1 3) J2 4) A1 5) A2 6) B1 7) B2 8) C1 9) C2	
認知症高齢者自立度		1) 自立 2) I 3) IIa 4) IIb 5) IIIa 6) IIIb 7) IV 8) M	

3. 特記事項

- 様式は必ず1枚目（上部に概況調査IV特記すべき事項欄がある様式）から記入してください。1枚目の用紙で足りなくなった場合は2枚目以降の様式（特記事項の記述欄のみの様式）に記入してください。
- 1群から順番に記入し、項目の番号は必ず記入してください。（特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取り、介護認定審査会の資料として使用されます。）
- 同一群の同一項目番号は、ページをまたいで記入しないでください。

※1行に2行分を記入することはしないようお願いいたします。

認定調査票(特記事項) 0407

特記事項 1枚目 **□□** 対象者番号 **□□□** 小規模多機能居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護を利用している場合は、サービス名と回数も記入します。
調査日 **□□□**

【概況調査】
IV. 調査対象者の家族状況、調査対象者の居住環境（外出が困難になるなど日常生活に支障となるような環境の有無）、日常的に使用する機器・器械の有無等について特記すべき事項を記入してください。

介護の手間（量）：
仙台市の独自項目です。
本人もしくは介護者に確認のうえ、記入してください。

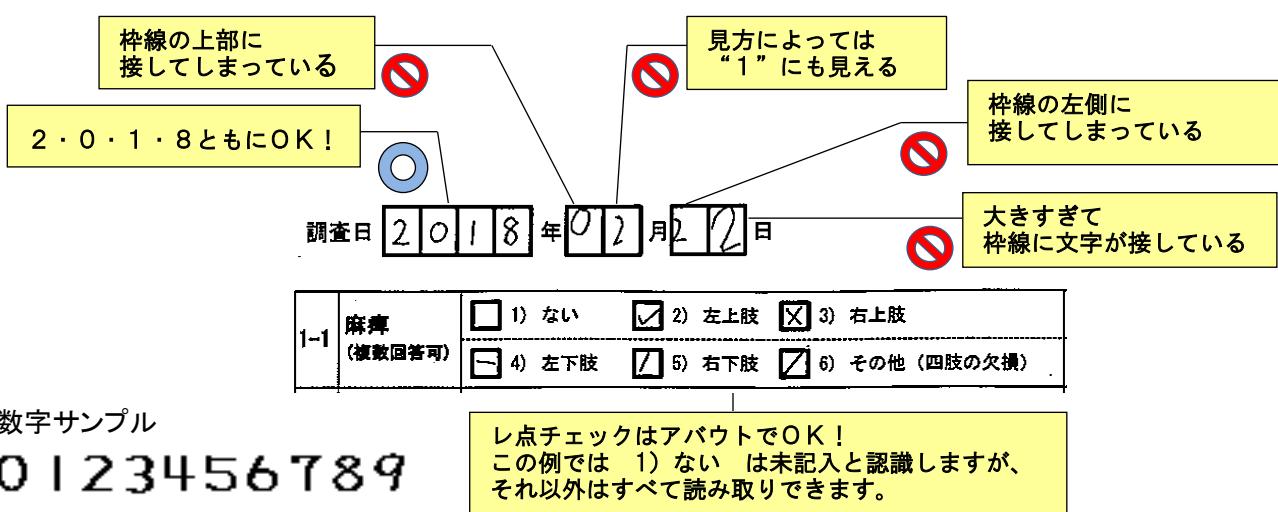
<更新申請の場合にのみ記入> ※ 本人・介護者からの聞き取り事項
前回の調査時点と比較して「介護の手間(量)」が □少なくなった・□あまり変わらない・□多くなった・□わからない

【特記事項】

調査項目	特記事項
調査項目： 該当する項目の番号を記入します。 間違った場合には、二重線訂正してください。ただし、文字は必ず枠内に収まるように記入してください。	特記事項（文字記入欄）： 間違った場合には、二重線訂正してください。ただし、文字は必ず枠内に収まるように記入してください。

文字は極端に丁寧でなくてかまいませんが、以下の点に気をつけてください。

- ① 文字が枠に接さない様に書く
- ② 「ちょっと無理して見れば、他の数字に見えるかな？」と思える様な書き方はしない
- ③ “9”や“4”などで真ん中にできる丸や三角がつぶれる様な書き方はしない
- ④ サインペンを使用すると、数字がつぶれて読み込まれ、認識率の低下を招く恐れがありますので使用しないでください。
- ⑤ 年月日はすべて数字で記入します。年は西暦4桁で記入してください。また1桁の月・日の場合は左側を0（ゼロ）埋めするか、もしくは右側1桁のみを記入してください。



特記事項の記載例

【I. 読み取りにおいて望ましい事例】

① 基本の記載例

2 - 2	自宅内では、トイレや食堂まで介助者が車いすを押して移動している為「4. 全介助」を選択。
-	ただし、外出(4/週)時は、電動車いすを使用しているため、自力で介助なしで行っている。
2 - 4	通常は介助なしで行っている。毎日朝食の際は、最初の数口は介護者が口まで運んでいる。
-	頻度から「1. 介助されていない」を選択する。
2 - 7	一週間以上に渡り歯磨きなどの口腔のケアが行われておらず、歯ぐきが腫れている。不適切な状況にあると判断。上肢拘縮の状況から「3. 全介助」を選択する。
-	

特記事項が複数行にまたがる場合、項目番号の2行目以降が空欄であっても読み取り可能です。

② 関連する項目をまとめて記載する場合

2 - 10	} 普通の衣服の着脱は自力で行うことができないが、着脱しやすい上衣・ズボンを使用してお
2 - 11	} り、自力で介助なしで行っているため、「1. 介助されていない」を選択する。

特記事項欄に中かっこを記入のうえ、特記事項を記入してください。

③ 同一群を2枚にまたいで記載する場合

1枚目

3 - 2	週の何曜日にデイサービスがあるかは答えられなかったが、毎日の起床、就寝、食事等のおお
-	まかな内容については答えることができたので「1. できる」を選択する。
3 - 4	調査当日の昼食で何を食べたかまで答えることが出来たが、家族の話では、普段は物忘れが
-	ひどく直前のこととも覚えていないことがあるとのこと。頻度から、「2. できない」を選択
-	する。

※ 本用紙に収まらない場合は、適宜用紙を追加して下さい

1 / 2 ページ

2枚目

調査項目	特記事項
3 - 6	調査当日の月日は答えることが出来たが、今の季節を答えることができないため「2. できな い」を選択する。

※ 前ページについて、最後の行まですべて埋めてある必要はありません。

※ 認定調査項目に含まれていない認知症に関連する症状のうち、「幻視・幻聴」、「暴言・暴行」、「不潔行為」、「異食行動」等については、関連する項目の特記事項に記入するか、認知症高齢者の日常生活自立度の特記事項に記入してください。

※ 特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取りますので、枠内を有効に活用して記入してください。

【Ⅱ. 読み取りにおいて望ましくない事例】

① 番号の記載がない場合

-	体を抱えられて車椅子に移乗し、押してもらう。「4.全介助」を選択する。
-	

項目番号がないと、どの調査項目に対しての特記事項か分かりません。項目番号は必ず記入してください。

② 同一群の同一項目番号が2枚にまたがって記載されている場合

1枚目

4 - 9	現在、入所中で、以前は毎日のように外に出ようとしていた。フロアの外や階段、エレベー
-	ターの前に観葉植物を置いたところ、現時点ではその行動がなくなったため「1. ない」を選
-	択する。しかし観葉植物を撤去すれば行動が再発し、起こると考えられる。
4 - 12	火を使わないように伝えているが、自分で調理できると思っており、ガスをつけっぱなしに

※ 本用紙に収まらない場合は、適宜用紙を追加して下さい

1 / 2 ページ

2枚目

調査項目	特記事項
4 - 12	して鍋を焦がすことが月に2～3回程度みられるため「2. ときどきある」を選択する。
-	家族が気をつけているが、目を離したときに火を使うことがある。

特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取り、介護認定審査会の資料として使用されます。同一項目番号の特記事項をページをまたいで記入すると資料が読みにくいため、同じページ内に記入してください。

③ 群の順番どおりに記載されていない場合

7 - 2	物忘れはなく、理解力は保たれていることにより「自立」を選択する。
1 - 2	調査時体調が悪く、関節等の痛みがあるとのことで、調査対象者に実際に行ってもらえないなかつたため、調査対象者と家族に、「関節の動く範囲の制限の有無の確認方法」に示す動作が行
-	えるかどうか確認したところ、全てできることのこと。「1.ない」を選択する。

特記事項の記入内容をそのままイメージ画像として読み取り、介護認定審査会の資料として使用されます。記入もれ等により群の順番を前後して記入すると資料が読みにくいため、群の順番通りに記入してください。

※ 関連する項目をまとめて記入する場合等により、同一群で項目番号のみ前後することは問題ありません。

※ 記入もれ等に備えて、各群の間に1～2行空白を設けることは問題ありません。